



病院図書館のサイン

横山 哲志

I. はじめに

規文堂は、昭和22年10月京都出版株式会社として創業（昭和39年に株式会社規文堂に改名）を開始し、多くの図書館員様から図書館用品を扱って欲しいとのご要望にお応えし、翌年からニーズに合った商品開発に取り組み60有余年に渡り図書館の発展と共に図書館専門メーカーとして歩んでまいりました。

今後も長年蓄積したノウハウを活かし、皆様に喜んで頂ける専門メーカーとして努力してまいりますのでご期待下さい。

さて、今回のテーマである病院図書館のサインについて簡単にアドバイスさせていただければと思います。

II. 基本的な考え方

図書館サインに関する基本的な考え方として、以下の点が挙げられます。

1. 誰もがわかりやすく、見やすい表示にすること。
2. 表示内容を容易に変更することができること。
3. 美しく見せるということ。

表示する内容は、資料の所在、利用に関する説明、それから約束事（ルール）となります。

III. 病院図書館のサイン

病院図書館のサイン計画は、大学図書館、公共図書館のサイン計画と基本的なコンセプトは

変わりませんが、病院図書館なりのポイントがあります。

1. スペース

病院図書館の場合スペースにゆとりがなく、限られたスペースに多くの資料を置くことになります。そのためどうしても煩雑になりますので、資料を効率よく連続(関連)性のある配置をし、誰もがわかりやすく、探しやすいことが求められます。

図書であれば利用者は分類表示に従って資料を探しますので、書架側板サインを分野別大分類と小分類での表示をおすすめします(図1)。

社会科学	
女性問題	民俗学
社会問題	衣食住
社会福祉	冠婚葬祭
学校教育	伝記・民話
社会教育	国防・軍事

図1.

また資料の増加や変更などに無駄なく対応できるように、図書館職員が簡単に表示変更可能なサインにすることをお勧めします。図1・図2はプリントアウトしたA4の用紙をそのまま入れることができます。

200 歴史	700 芸術
210 日本史	710 彫刻
220 アジア史	720 絵画
230 ヨーロッパ史	730 版画
240 アメリカ史	740 写真
250 北アメリカ史	750 印刷
260 南アメリカ史	760 工芸
270 オセアニア史	770 音楽
280 伝記	780 舞踊
290 地理	790 演劇
	映画
	790 スポーツ
	茶道
	華道
	音楽
	娯楽

図2. 分類サイン差込ホルダーA4 (ダブルタイプ)

分化する必要もありますので、書架内部の資料をさらにガイドコートによって細分する方が探しやすくなると思います。利用者にとって資料が探しやすい分類方法が、サインとともに大事な要素となります。図3も内容が変更できます。



図3.

2. 一人職場

病院図書館の特徴として職員がお一人しかおられないところが多く、図書室内が無人になることもよくありますので、ルールを守った貸出・返却ができるよう、サインの役割は非常に大事になります。利用案内で貸出期間、貸出冊数、貸出可能な資料などがわかりやすく把握できる表示にします。図4のタイプなら、利用規則の変更にも対応できます。



図4.

図書館職員がいない際の開館・閉館・休館も明確な表示が必要です(図5、6)。これらには、平付け表示・突出し表示・吊下げ表示などの種類があります。

館内配置図(図7)や天井吊下げタイプ(図8)のコーナーサインは、病院図書館では実用的な意味は小さくなりますが、専門家と相談をしていただければ、デザイン的に優れた図書館空間が演出できると思います。

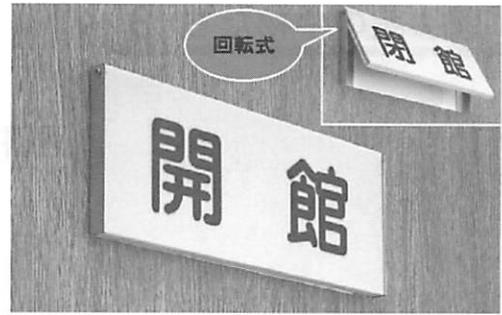


図5. 壁付回転式サイン「開閉館」



図6. 突出スライドサイン「開閉館」

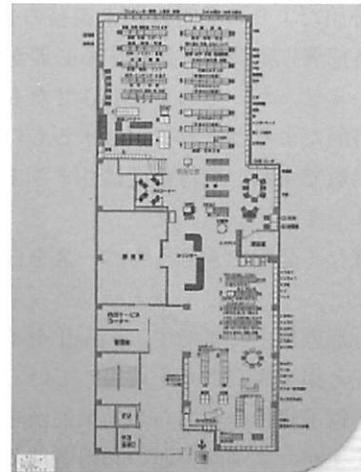


図7.



図8.